



# ポーリング デバイス

---

このセクションでは、次の点について説明します。

- [ポーリングの設定](#) (1 ページ)
- [概要](#) (1 ページ)
- [ポーリング パラメータ：設定](#) (3 ページ)
- [ポーリング パラメータの表示](#) (4 ページ)
- [ポーリング パラメータの編集](#) (4 ページ)

## ポーリングの設定

このセクションでは、デバイスのポーリングに使用する設定について説明します。

## 概要

デバイスを定期的にポーリングすると、デバイスを検出し、正常性を確認します。管理されたネットワーク デバイスは定期的にポーリングされ、デバイス データは Cisco Prime Collaboration Assurance のデータベースと同期されます。

Cisco Prime Collaboration Assurance は、次の目的のためにデバイスをポーリングします。

- デバイスが到達可能であることを確認する
- デバイスが動作していることを確認する
- 最新のデバイス データを表示する

グループのポーリング値を定義できます。デバイスは、システム定義またはユーザ定義のグループに属することができます。デバイスは、複数のグループに所属し、特定のポーリングを設定することもできます。



(注) [Polling Parameters] ページでグループを作成することはできません。グループは、デフォルトのデバイスグループから同期されます。詳細については、「[デバイスグループセレクト](#)」を参照してください。

Cisco Prime Collaboration Assurance では、ポーリングパラメータはデフォルトで設定されています。デフォルトを使用、編集、またはいつでも復元できます。デバイスグループの重要度に応じてポーリング間隔を変更し、次のいずれかを実行することができます。

- ポーリング対象デバイスへの影響を最小限に抑える。
- 収集データの精度を上げる。

When Cisco Prime Collaboration Assurance がデバイスをポーリングすると、次のパラメータによるデータを受信します。

#### 環境設定

デバイスの電源、ファン、電圧、温度センサーのデータをポーリングします。

#### インターフェイス設定

HTTP を介したデバイス通信など、デバイスインターフェイスとポートのデータをポーリングします。

インターフェイスとポートからポーリングされたデータは、デバイスレベルで制御されます。つまり、スイッチには特定のポーリング設定があり、この設定によってスイッチポートをポーリングするタイミングが決定します。

#### システム設定

デバイスの可用性、プロセッサ、CPU、メモリ使用率に関するデータをポーリングします。

#### 使用率

パフォーマンスグラフで表示されるよう、パフォーマンスとキャパシティの計画データを収集します。

パフォーマンスグラフには、[アラームとイベント (Alarms & Events)] ページ、[デバイス 360 度 (Device 360 degree)] ビュー、[診断の概要 (Diagnostics Summary)] ページからアクセスできます。

#### アプリケーション設定

デバイス接続、システムステータス、コール品質用のデータをポーリングします。

#### サービス設定

サービス設定は、クラスタ接続やテレフォニー設定など、サービスの問題に関するデータを提供します。

ポーリングパラメータは、選択したデバイスタイプによって異なります。

特定のデータをポーリングしない場合は、[無効化 (Disable) ] オプションを使用してポーリング設定を無効にすることができます。

推奨事項 :

- **Cisco Prime Collaboration リリース 11.1 以前の場合**

パラメータのポーリング間隔は、ビジネス ニーズに基づきカスタマイズできます。ただし、[ベスト プラクティスの使用 (Use Best Practice) ] ラベルが付いたポーリング間隔を使用することを推奨します。それぞれのポーリング設定では、しきい値違反が発生したときに、関連付けられているイベントを表示することもできます (で表示) 。[アシュアランス管理 (Assurance Administration) ] > [イベントのカスタマイズ (Event Customization) ] > [System (システム) ]。の説明とデバイス タイプについては、[Prime Collaboration Assurance でサポートされているアラームとイベント (Supported Alarms and Events for Prime Collaboration Assurance) ] ページを参照してください。

- **Cisco Prime Collaboration リリース 11.5 以降の場合**

パラメータのポーリング間隔は、ビジネス ニーズに基づきカスタマイズできます。ただし、[ベスト プラクティスの使用 (Use Best Practice) ] ラベルが付いたポーリング間隔を使用することを推奨します。それぞれのポーリング設定では、しきい値違反が発生したときに、関連付けられているイベントを表示することもできます ([アラームおよびレポートの管理 (Alarm & Report Administration) ] > [イベントのカスタマイズ (Event Customization) ] > [システム (System) ]。 イベントの説明とデバイス タイプについては、[Prime Collaboration Assurance でサポートされているアラームとイベント (Supported Alarms and Events for Prime Collaboration Assurance) ] ページを参照してください。

- デフォルトのポーリング間隔は 4 分に設定されていますが、1 分に設定することもできます。一部の重要なデバイスに対してのみ、ポーリング間隔を 1 分に設定することを推奨します。すべてのデバイスでポーリング間隔を 1 分に設定すると、パフォーマンスに悪影響を及ぼします。
- 特定のデータをポーリングしない場合は、[無効化 (Disable) ] オプションを使用してポーリング設定を無効にすることができます。

## ポーリング パラメータ : 設定

ポーリングパラメータ設定を変更したときに、変更はそのデバイスだけではなく、グループ全体に適用されます。ポーリングパラメータは、あるいは ページで、[デバイス グループ (Device Group) ] を選択すると表示されます。

Polling Parameters ページから、次の作業を行うことができます。

- [ポーリング パラメータの表示](#)
- [ポーリング パラメータの編集](#)

## ポーリングパラメータの表示

デバイスグループのポーリング設定を表示すると、デバイスグループのメンバーであるデバイスを確認できます。また、ポーリングパラメータのデフォルト値と現在値も確認できます。

ポーリングパラメータを表示するには、以下を行います。

---

**ステップ 1** 選択 [アシュアランス管理 (Assurance Administration)] > [ポーリング設定 (Polling Settings)]。

**Cisco Prime Collaboration リリース 11.5 以降の場合**

移行方法 [アラームおよびレポート管理 (Alarm & Report Administration)] > [ポーリング設定 (Polling Settings)]

**ステップ 2** ポーリングパラメータを設定できるデバイスグループを選択します。(通常、これはサブグループを含まないデバイスグループです)。

**ステップ 3** ポーリングパラメータを確認し終わったら、ウィンドウを閉じます。

---

## ポーリングパラメータの編集

Cisco Prime Collaboration Assurance のポーリングパラメータを編集する場合は、個々のデバイスではなく、デバイスグループに関連付けられている設定を編集します。ポーリングパラメータ (およびしきい値とプライオリティ) に対するすべての変更を終了したら、すべての変更を適用します。

ポーリングパラメータを編集するには、以下の手順を実行します。

---

**ステップ 1** 選択 [ポーリング設定 (Polling Settings)]。

**Cisco Prime Collaboration リリース 11.5 以降の場合**

移行方法 [アラームおよびレポート管理 (Alarm & Report Administration)] > [ポーリング設定 (Polling Settings)]。

**ステップ 2** ポーリングパラメータを設定できるデバイスグループを選択します (通常、これはサブグループを含まないデバイスグループです)。

**ステップ 3** 編集するポーリングパラメータを選択し、[ポーリング間隔 (Polling Interval)] ドロップダウンから適切な値を選択して、[有効化 (Enable)] をクリックします。

**ステップ 4** 編集する各パラメータに対して、次の手順を繰り返します。

- a) パラメータタイプを選択します。
- b) 各設定のパラメータを適切に変更します。

**ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。適用するまで変更は反映されません。

**ステップ 6** 確認ダイアログボックスが表示されたら、**[OK]** をクリックします。

---

